

工学部国際連携サマープログラム 2014 無事終了

今年で7回目を迎えた工学部国際連携サマープログラム。今年を受入プログラムとして、7月28日（月）から8月8日（金）まで4か国・地域の協定校生を迎え、米沢で開催されました。

今回、参加した海外協定校は、昨年派遣プログラムで本学の学生がお世話になったタイのラジャマンガラ工科大学をはじめ、モンクット王ラカバン工科大学・泰日工業大学、マレーシアのマレーシア工科大学、中国の哈爾濱工業大学・吉林化工学院、台湾の台湾大学の7校で、計12名の学生が参加しました。本学工学部・理工学研究科からは、15名の学生が参加し、計27名の学生が共通言語となる英語を用い、コミュニケーションを図りながら、充実した12日間を過ごしました。

プログラムでは、理工学研究科の各専攻の研究紹介をはじめとし、ごみ処理施設や企業訪問等も実施しました。また、「環境問題と、工学を学ぶアジアの私たち」をテーマに、山形蔵王においてワークショップ形式の合宿を行い、各国の環境問題とその対策等を討論しました。米沢での最終日には、グループごとのポスター発表を行い、本学の学生、関係教職員、ホストファミリー等、多くの方にご参加いただきました。

さらに、今年度、協定校生に対してはJSTの「さくらサイエンスプログラム」の採択を受けたことにより、東京にある日本未来科学館を訪れ、最先端の科学技術に触れる機会も得ることができました。帰国時には、多くの協定校生が日本への留学を頭に思い描いたようでした。次回の来日は、本学への留学であることを期待したいものです。

実施にあたり、社団法人米沢工業会・山形大学工学部後援会をはじめ、多くの皆様のご支援・ご協力をいただきました。深く感謝致します。

なお、詳細な内容は、JSTのHP活動報告にも後日掲載される予定です。<http://ssp.jst.go.jp/report/index.html>

